

冬のワクワク プレゼント!!



「当たり年」のモネが来る!

あべのハルカス美術館「印象派・光の系譜」展に
ペア15組(30名様)ご招待!!

収蔵文化財約50万点、印象派絵画でも珠玉のコレクションを誇るイスラエル博物館。来年1月28日から開催される展覧会「印象派・光の系譜」は、同館所蔵のモネ、ルノワール、ゴッホ、ゴーガンらの作品約70点で、印象派の前駆的作品からポスト印象派、その後のナビ派まで印象派の系譜をたどる催しです。

注目のひとつはモネの「睡蓮の池」。睡蓮連作の「当たり年」と評される1907年に描かれた作品です。

他にもコロー、シスレー、セザンヌ、ボナールの作品も。出品作の大半が日本初公開です。

イスラエル博物館所蔵 印象派・光の系譜—モネ、ルノワール、ゴッホ、ゴーガン

- 【会 期】 令和4年1月28日(金)～4月3日(日)
午前10時～午後8時(火～金) 午前10時～午後6時(月・土・日・祝)
※入館は閉館30分前まで
- 【休 館 日】 1月31日(月)、2月7日(月)
- 【会 場】 あべのハルカス美術館(あべのハルカス16階)
- 【入 館 料】 一般1,900(1,700)円 大高生1,100(900)円 中小生500(300)円
()内は前売りおよび15名様以上の団体料金



クロード・モネ《睡蓮の池》1907年、
油彩/カンヴァス、101.5×72.0 cm、イスラエル博物館蔵
Gift of The Jerusalem Foundation from the Sam Spiegel Collection
Photo © The Israel Museum, Jerusalem